

CASBEE-広島 2014年版			■使用評価マニュアル：CASBEE-広島 2014年版						
特別養護老人ホーム矢野(仮称)			■評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)						
スコアシート 実施設計段階			欄に数値またはコメントを記入						
			建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数		評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境						0.40		-	2.5
1 音環境					2.1	0.15	2.2	1.00	2.1
1.1 騒音					3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音					1.8	0.40	2.0	0.40	
1 開口部遮音性能					3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能					1.0	0.60	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-	2.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	2.0	0.20	
1.3 吸音					1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境					2.3	0.35	2.1	1.00	2.2
2.1 室温制御					2.5	0.50	2.1	0.50	
1 室温					3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能					1.0	0.25	1.0	0.43	
3 ゾーン別制御性					3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御					1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式					3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境					2.5	0.25	3.6	1.00	3.0
3.1 昼光利用			居室に大きな引違い戸(AD1 2.4Wx2.2H)を設けた		2.4	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率					2.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	3.0	-	
3 昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策			庇及びカーテンを組合せて制御する		2.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御					2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度					3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御					3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境					2.3	0.25	2.7	1.00	2.5
4.1 発生源対策					3.0	0.50	3.0	0.63	
1 化学汚染物質					3.0	1.00	3.0	1.00	
2 アスベスト対策						-		-	
4.2 換気					2.0	0.30	2.3	0.38	
1 換気量					1.0	0.50	1.0	0.33	
2 自然換気性能						-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					1.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視						-		-	
2 喫煙の制御					1.0	1.00		-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.1
1 機能性					3.0	0.40	4.2	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ			居室は特養施設基準(10.65㎡/人)を確保している		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性						-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						-	3.0	-	
3 バリアフリー計画						1.00		-	
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観						-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-		-			
3 内装計画					3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理					3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計					3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50		-	
3 衛生管理業務						-		-	
2 耐用性・信頼性					2.8	0.30		-	2.8
2.1 耐震・免震					3.0	0.50		-	
1 耐震性					3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能					3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数					2.8	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20		-			

	2.4 信頼性			2.4	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.1	0.30	2.9	1.00	3.0
	3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	2.8	0.50	
	1	階高のゆとり	PSを分散配置し自由度ある改修プランを可能とする	3.0	0.60	2.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		4.0	0.40	4.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-		
	2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-		
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-		
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-		
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-		
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	3.2
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			建物位置を道路境界よりセットバックさせ、ゆとり空間のある景観とした	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				—	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			建物外皮による負荷低減を目指した	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.85 住宅(専有部) —	4.0	0.50	-	-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		設備機器によるエネルギー利用の低減を目指した	4.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用				2.0	0.20	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.8	0.60	-	-	2.8
	2.1 材料使用量の削減		— 陶磁器質タイル・調理室等の腰壁	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
	LR3 敷地外環境				—	0.30	-	
1 地球温暖化への配慮			LCCC02は一般建物以下	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		光害対策ガイドラインを一部満たしている	3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		4.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	